

至誠館大学

科目名	基礎ゼミ I ※(萩)			コード			
英語表記	Primary Seminar I						
担当教員名	李文相・安永正夫・福田一儀・原田憲一			年度	平成28年度		
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	1		
授業形態	演習	授業形式		履修形態	必修		
授業概要							
<p>「総合人間学 I・II」で鑑賞した映画について、映画のテーマは何か、テーマを観客に訴えるために、どのような構成(筋書き)になっているか、そして見どころは何か、などについてグループ討論を行う。そして、その結果を踏まえて、映画の粗筋と印象に残った3つのごと(せりふや動作、情景、BGMなど)を文章化する。目的は(1)ワールドカフェを通して、グループ討論や意見発表に慣れること、(2)文章作法の基礎を習得すること、である。</p>							
到達目標							
<p>(1)グループ討論でリーダーシップを発揮し、自分の意見を明確に論理的に表明できる。 (2)論理的で平易な、説得力のある文章が書ける。</p>							
授業計画							
第1回	『バック・トゥー・ザ・フューチャー』について						
第2回	『猿の惑星』について(+原稿用紙の使い方)						
第3回	『ロシアより愛をこめて』について(+文体の統一)						
第4回	『ローマの休日』について(+語尾の工夫)						
第5回	『追想』について(+接続詞の使い方)						
第6回	『ゴースト』について(+段落とは)						
第7回	『ウェストサイド物語』について(+図解発送法について)						
第8回	『サウンド・オブ・ミュージック』について(+マップの作り方)						
第9回	『天使にラブソングを』について(+アウトラインの作り方①)						
第10回	『ライフ・イズ・ビューティフル』について(+アウトラインの作り方②)						
第11回	『パッチ・アダムズ』について(+章立てと小見出しについて)						
第12回	『フォレスト・ガンプ』について(+段落の作り方)						
第13回	『ベストキッド』について(+推敲)						
第14回	『ロッキー』について						
第15回	『アイアンマン』について						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
<p>態度、レポート、参加度を総合して評価する。5回以上欠席(公欠を含む)した場合は単位を認定しない。授業態度には遅刻やレポート提出の遅れも含む。参加度は、グループディスカッションでのリーダーシップや発言などで評価する。</p>			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30	40		30
授業外学習			テキスト、教材				
<p>グループディスカッションで出た映画に関する話題について、ウェブサイト等で関連情報を調べること。</p>			<p>日本語の文章作法に関する本が数多く図書館にあるので、どれか1冊を通読すること。</p>				
参考書			受講生へのメッセージ				
			<p>グループディスカッションを通じて、自分が独特の感性の豊かにもっていることを確かめてください。</p>				
キーワード							